

公的扶助とは？

～最低限度の生活保障～



はじめに

<目次>

貧困の概念

生活保護制度の原理と原則

受給までの流れ

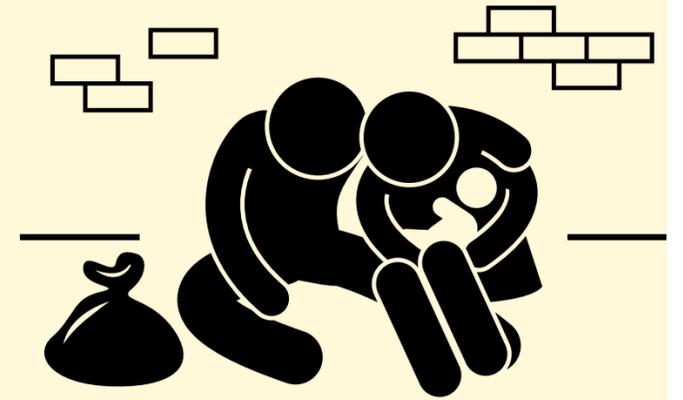
低所得者支援



貧困の概念

絶対的貧困

- ・ **第1次貧困**：肉体能率の維持ができない
- ・ **第2次貧困**：肉体能率はギリギリ維持
他の物に消費できない



相対的貧困（現代）

周囲と比較して劣っている状態



一般の人が参加できる機会に貧困ゆえに参加できない

貧困の概念

社会保障制度の分類

社会保障制度審議会勧告（1962年勧告）

国民階層を3つに分類する

- 一般所得階層 → 社会保険制度（保険料）
- 低所得階層 → 社会福祉制度（公費）
- 貧困階層 → 生活保護制度（公費）

貧困の概念

貧困の原因や背景は複合的で様々である



はじめに

<目次>

貧困の概念

生活保護制度の原理と原則

受給までの流れ

低所得者支援



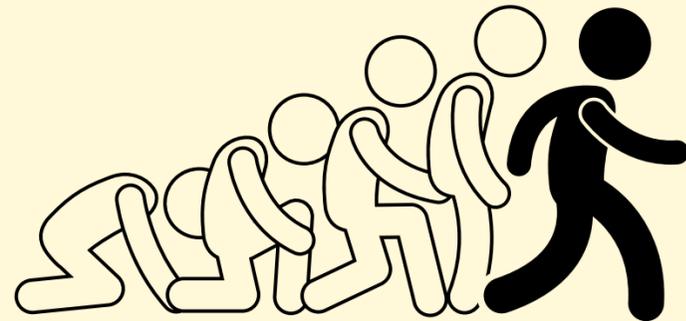
生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の目的

- **最低限度の生活保障（憲法第25条）**



- **自立の助長**



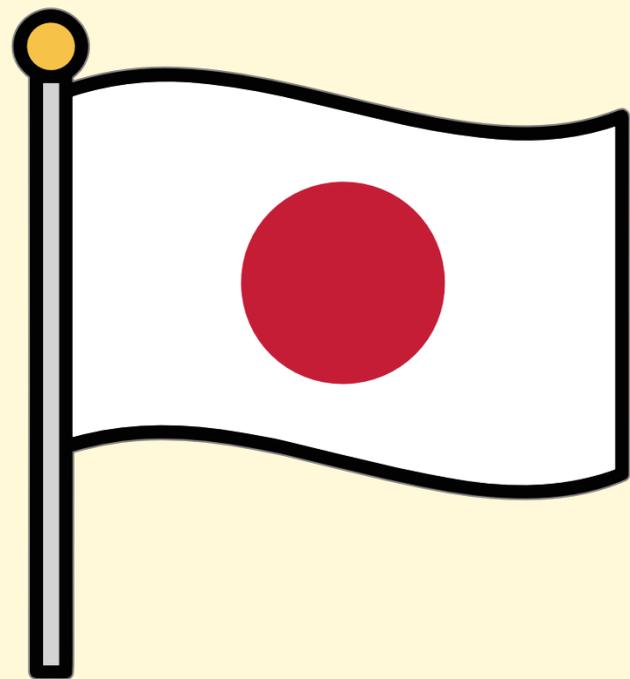
憲法第25条

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の基本原則（例外なし）

国家責任の原理

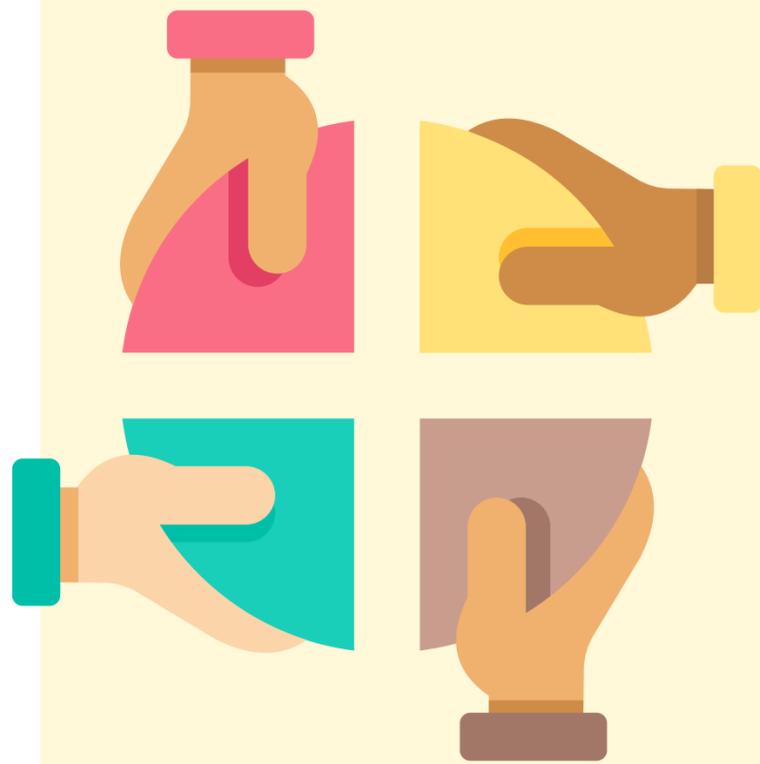


**国家が憲法 25 条の理念に基づき
最低限度の生活保障と
その自立を助長する**

生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の基本原則（例外なし）

無差別平等の原理



すべての**国民**は

生活保護法の要件を満たす限り

保護を無差別平等で受けられる

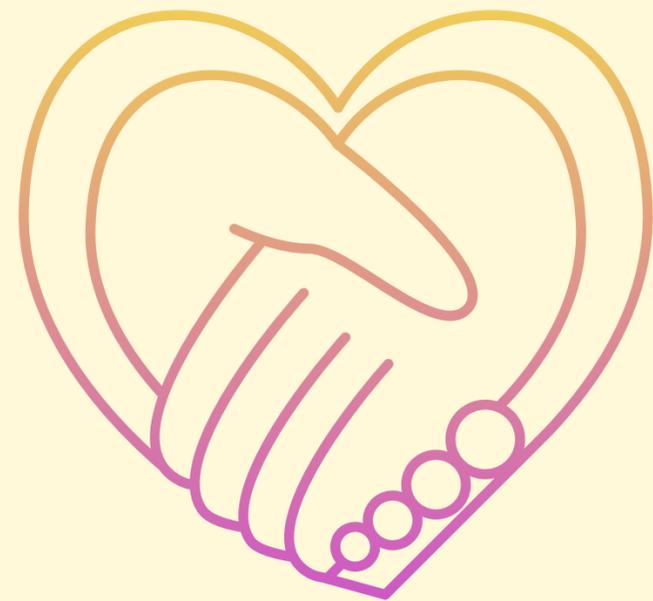
原因の所以や
社会的身分や信条に
左右されない



生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の基本原則（例外なし）

最低生活の原理



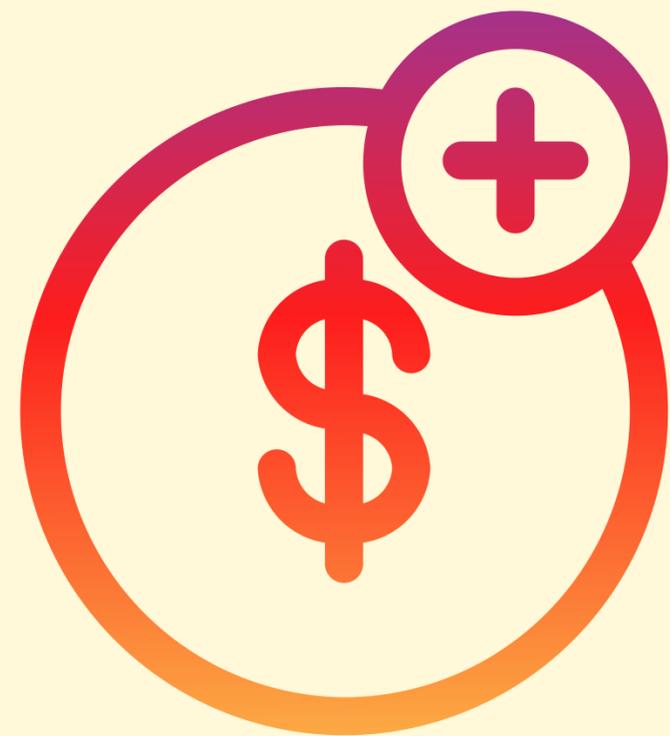
保障される最低限度の生活は
健康で文化的な生活水準を
満たすものでなければならない

生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の基本原則（例外なし）

保護の捕捉性の原理

民法に定める
扶養義務者の扶養が
保護に優先



要件として

利用し得る資産や能力、その他を

最低限度の生活に活用

生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の基本原則（例外あり）

申請保護の原則

要保護者

扶養義務者

同居の親族

申請に基づいて開始

※やむを得ず急迫の状況の時は

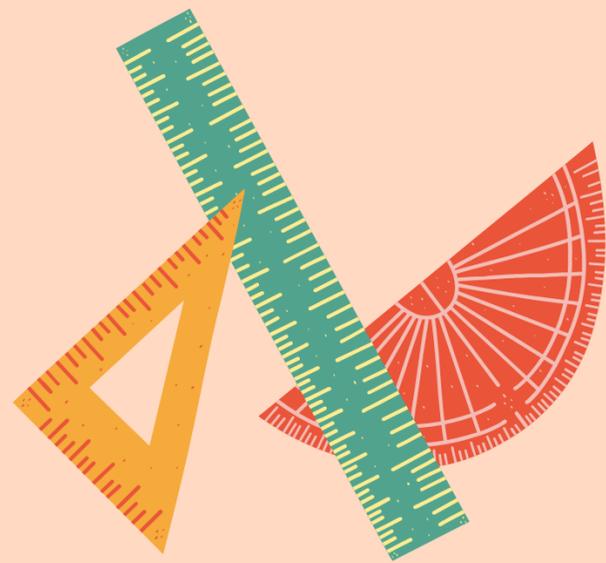
例外あり



生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の基本原則（例外あり）

基準及び程度原則



厚生労働大臣の定める基準

最低限度の生活を満たすのに十分

かつ超えないもの

生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の基本原則（例外あり）

必要即応の原則



個人や世帯の実際の必要の相違を
考慮して、有効かつ適切に行う

年齢別・性別・健康状態など

生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の基本原則（例外あり）

世帯単位の原則



世帯単位を原則

※これにより難しいときは

個人を単位とすることもできる

生活保護制度の原理と原則

生活保護制度の基本原則（例外なし）

国家責任の原理



最低生活の原理

無差別平等の原理

保護の捕捉性の原理



生活保護制度の基本原則（例外あり）

申請保護の原則



必要即応性の原則



基準及び程度の原則



世帯単位の原則



生活保護制度の原理と原則

保護の種類 9つ

② 住宅扶助



③ 出産扶助

① 生活扶助



⑤ 生業扶助



高校

現金給付



④ 教育扶助



⑨ 葬祭扶助

現物給付

⑥ 医療扶助



⑦ 介護扶助



はじめに

<目次>

貧困の概念

生活保護制度の原理と原則

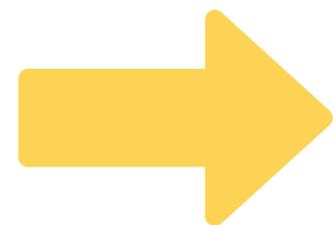
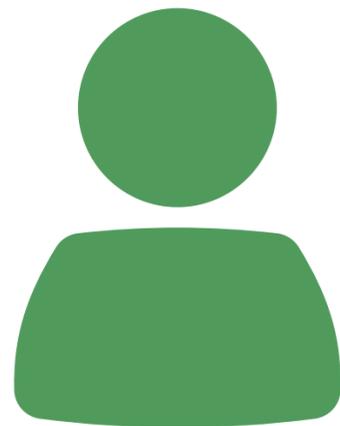
受給までの流れ

低所得者支援



生活保護制度の原理と原則

受給までの流れ



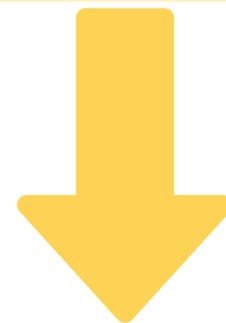
申請

(申請保護の原則)

福祉事務所

市町村
生活保護の窓口

申請書の提出
収入や資産の申告等



資力調査

(ミーンズテスト)

POINT

調査



(補足性の原理を満たしているかどうか)

生活保護制度の原理と原則

認定について（保護開始）

世帯単位の原則

世帯の最低生活費

生活扶助

住宅扶助

教育扶助など

収入認定額

扶助費として支給 

基準及び程度の原則

生活保護制度の原理と原則

認定について（却下）

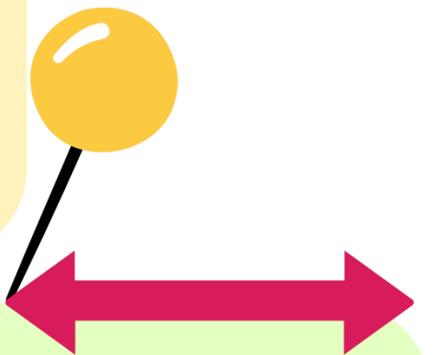
世帯の最低生活費

生活扶助

住宅扶助

教育扶助など

収入認定額が最低生活費を超える場合



はじめに

<目次>

貧困の概念

生活保護制度の原理と原則

受給までの流れ

低所得者支援



低所得者支援

生活福祉資金貸付制度

目的：低所得者や高齢者、障害者の生活を
経済的に支える



- ・ 総合支援資金
- ・ 緊急小口資金



 社会福祉協議会が実施

低所得者支援

生活福祉資金貸付制度

総合支援資金 生活再建までの間必要な生活費

福祉資金 (緊急小口資金 = 10万円以内)

教育支援基金

不動産担保型生活資金

低所得者支援

生活困窮者自立支援制度

目的：最低限度の生活を維持できなくなる
おそれのある人を対象（前段階）

必須事業

- ・ 自立相談支援事業
- ・ 住宅確保給付金



福祉事務所が実施

おわりに

<目次>

貧困の概念

生活保護制度の原理と原則

受給までの流れ

低所得者支援



おつかれさまでした！